



2020年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月9日

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス
 コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 2019年10月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 垣内 康晴
 (氏名) 堀田 欣弘
 TEL 03-3254-2501

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	2,377	14.7	117	59.1	121	58.8	84	58.3
2019年2月期第2四半期	2,786	0.4	287	5.4	294	4.9	202	0.1

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 78百万円 (59.3%) 2019年2月期第2四半期 192百万円 (6.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	3.20	
2019年2月期第2四半期	7.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	5,580	4,913	88.0	186.16
2019年2月期	5,889	5,020	85.2	190.19

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 4,913百万円 2019年2月期 5,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		7.00	7.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,090	6.9	484	12.6	483	14.5	340	7.2	12.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	32,237,249 株	2019年2月期	32,237,249 株
期末自己株式数	2020年2月期2Q	5,844,059 株	2019年2月期	5,844,059 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	26,393,190 株	2019年2月期2Q	26,393,192 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

当社は、以下のとおり投資家説明会を開催する予定です。

この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・2019年10月16日・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益に陰りが見られるものの、雇用・所得環境の着実な改善を背景に消費の底堅さは継続しており、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題等による海外経済の不確実性等、先行き不透明な状況が続きました。

このような経済環境下、雇用情勢については採用意欲の高止まり傾向は継続しており、当社の戦略地域である静岡県においては2019年8月の有効求人倍率が前年同月比0.12ポイント下降の1.57倍となるものの、雇用環境は底堅く推移しております。

このような状況において当社グループでは、魅力ある情報サービスを開発・選択・展開し、商品力・販売力を強化することで地域の競争力強化と収益基盤の拡大を図ることに注力しました。

当社主力事業である求人情報事業では、企業の採用意欲が継続している市場環境下、個別多様化している入職ルートに対応するため、求人メディアにおいては、シニアや女性、医療介護、ドライバー等の属性や業種に特化した無料求人誌『DOMO（ドモ）』別冊版を発行しました。また、リアルマッチングの機会として、転職・就職イベント『シゴトフェア』や子育てママから就職・転職を希望する女性のための合同企業面談会『シゴトフェア Woman（ウーマン）』等のイベントを静岡県及び愛知県で開催いたしました。

また、2019年5月7日に愛知県、岐阜県を中心とする東海地方において、新聞折込求人広告を手掛ける地域市場シェア首位の三光アド社と人材サービス関連商材を販売する合弁会社を設立し、当第2四半期より営業を開始いたしました。当該合弁会社の設立により、静岡県ならびに名古屋市内、名古屋市内近郊及び西三河地域を中心のエリア展開を静岡県、愛知県内全域及び岐阜県主要地域へと拡大いたしました。

外国人採用支援事業では、2019年3月に日本国内のミャンマー人を対象にした人材マッチングイベント『ミャンマー Job Fair（ジョブフェア）』を継続開催いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は2,377百万円（前年同四半期比14.7%減）となりました。売上原価は、765百万円（前年同四半期比12.2%減）、販売費及び一般管理費は、1,494百万円（前年同四半期比8.1%減）となりました。営業利益は、117百万円（前年同四半期比59.1%減）、経常利益は121百万円（前年同四半期比58.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84百万円（前年同四半期比58.3%減）となりました。

セグメント別の業績（セグメント間の内部取引消去前）を示すと、次のとおりであります。

(情報提供事業)

情報提供事業では、『DOMO NET（ドモネット）』と連携した採用管理システムを提供するサービス『ワガシャ de DOMO』の販売は堅調に推移したものの、前連結会計年度と比較し発行回数が少ない『DOMO』静岡県内版の売上の減少や『DOMOリーフ』の休刊等により、売上高は1,950百万円（前年同四半期比15.7%減）、セグメント利益は432百万円（前年同四半期比25.9%減）となりました。

(販促支援事業)

販促支援事業では、主たる売上であるフリーペーパーの取次において、前連結会計年度における大口顧客の休刊等により売上が減少し、販促支援事業における売上高は449百万円（前年同四半期比10.1%減）、セグメント利益は42百万円（前年同四半期比5.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5,580百万円（前連結会計年度末比5.2%減）、負債が666百万円（前連結会計年度末比23.3%減）、純資産が4,913百万円（前連結会計年度末比2.1%減）となりました。また、自己資本比率は88.0%となりました。

資産の部では、流動資産が4,738百万円（前連結会計年度末比5.6%減）となりました。内訳として、現金及び預金が4,135百万円（前連結会計年度末比5.4%減）、売掛金が465百万円（前連結会計年度末比13.4%減）等となったためです。

固定資産は842百万円（前連結会計年度末比3.2%減）となりました。内訳として、有形固定資産が584百万円（前連結会計年度末比0.3%減）、無形固定資産が97百万円（前連結会計年度末比5.5%減）、投資その他の資産が161百万円（前連結会計年度末比11.3%減）となったためです。

負債は666百万円（前連結会計年度末比23.3%減）となりました。これは、未払金が376百万円（前連結会計年度末比13.5%減）、賞与引当金が88百万円（前連結会計年度末比6.8%減）、未払法人税等が39百万円（前連結会計年度末比74.4%減）等となったためです。

純資産は4,913百万円（前連結会計年度末比2.1%減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当により利益剰余金が4,994百万円（前連結会計年度末比2.0%減）等となったためです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて235百万円減少し、4,135百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、15百万円（前年同四半期は328百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が121百万円、減価償却費が22百万円、売上債権の減少額が71百万円等となった一方で、未払債務の減少額が63百万円、賞与引当金の減少額が6百万円、法人税等の支払額が117百万円等となったためです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、35百万円（前年同四半期は15百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が3百万円、無形固定資産の取得による支出が2百万円、関係会社株式の取得による支出が2百万円、関係会社への貸付による支出が20百万円等となったためです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、183百万円（前年同四半期は183百万円の支出）となりました。これは、配当金の支払額が183百万円となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期業績予想につきましては、2019年4月11日付「2019年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表した業績予想を修正いたしません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,371,126	4,135,921
売掛金	537,442	465,542
その他	111,169	136,721
貸倒引当金	△306	△106
流動資産合計	5,019,431	4,738,078
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	125,111	124,831
土地	444,475	444,475
その他(純額)	16,203	14,828
有形固定資産合計	585,789	584,135
無形固定資産		
ソフトウェア	92,198	86,541
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	102,804	97,147
投資その他の資産		
その他	183,001	162,046
貸倒引当金	△1,290	△786
投資その他の資産合計	181,710	161,260
固定資産合計	870,305	842,543
資産合計	5,889,736	5,580,621
負債の部		
流動負債		
未払金	435,820	376,901
賞与引当金	94,675	88,250
その他	338,939	201,561
流動負債合計	869,435	666,714
負債合計	869,435	666,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,425	540,425
利益剰余金	5,095,071	4,994,787
自己株式	△1,076,000	△1,076,000
株主資本合計	5,015,493	4,915,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,660	1,576
為替換算調整勘定	△2,275	△3,215
その他の包括利益累計額合計	4,385	△1,639
非支配株主持分	422	337
純資産合計	5,020,300	4,913,907
負債純資産合計	5,889,736	5,580,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
売上高	2,786,225	2,377,809
売上原価	871,768	765,289
売上総利益	1,914,457	1,612,520
販売費及び一般管理費	1,626,644	1,494,697
営業利益	287,812	117,822
営業外収益		
受取利息	87	100
受取賃貸料	420	420
投資事業組合運用益	5,163	2,808
持分法による投資利益	—	781
その他	2,538	2,310
営業外収益合計	8,209	6,420
営業外費用		
違約金	293	835
為替差損	—	832
その他	1,301	1,300
営業外費用合計	1,595	2,968
経常利益	294,426	121,274
特別損失		
減損損失	2,714	—
特別損失合計	2,714	—
税金等調整前四半期純利益	291,711	121,274
法人税、住民税及び事業税	103,777	29,965
法人税等調整額	△13,213	6,299
法人税等合計	90,564	36,264
四半期純利益	201,147	85,009
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,382	541
親会社株主に帰属する四半期純利益	202,530	84,468

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
四半期純利益	201,147	85,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,388	△5,084
為替換算調整勘定	△1,432	△1,566
その他の包括利益合計	△8,820	△6,650
四半期包括利益	192,326	78,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,823	78,444
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,496	△84

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	291,711	121,274
減価償却費	18,432	22,298
減損損失	2,714	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△119	△703
賞与引当金の増減額(△は減少)	37,589	△6,425
受取利息及び受取配当金	△87	△99
投資事業組合運用損益(△は益)	△5,163	△2,808
持分法による投資損益(△は益)	—	△781
売上債権の増減額(△は増加)	56,765	71,732
たな卸資産の増減額(△は増加)	169	1,451
未払債務の増減額(△は減少)	△41,583	△63,843
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,573	△20,028
その他	18,008	△31,643
小計	387,010	90,423
利息及び配当金の受取額	6,786	11,586
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△65,670	△117,873
営業活動によるキャッシュ・フロー	328,125	△15,864
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,400	△3,700
有形固定資産の除却による支出	—	△2,251
無形固定資産の取得による支出	△13,715	△2,970
関係会社株式の取得による支出	—	△2,000
敷金及び保証金の差入による支出	△40	△4,699
敷金及び保証金の回収による収入	177	199
貸付けによる支出	—	△20,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,978	△35,422
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△183,725	△183,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	△183,726	△183,085
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,832	△832
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	126,588	△235,204
現金及び現金同等物の期首残高	4,009,583	4,371,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,136,171	4,135,921

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分のその他に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,314,602	471,623	2,786,225	—	2,786,225
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	28,140	28,140	△28,140	—
計	2,314,602	499,764	2,814,366	△28,140	2,786,225
セグメント利益	583,620	44,707	628,327	△340,515	287,812

(注) 1. セグメント利益の調整額△340,515千円は、セグメント間取引消去2,220千円及び全社費用△342,735千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「情報提供事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては2,714千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,950,532	427,277	2,377,809	—	2,377,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	21,836	21,836	△21,836	—
計	1,950,532	449,113	2,399,645	△21,836	2,377,809
セグメント利益	432,448	42,456	474,904	△357,081	117,822

(注) 1. セグメント利益の調整額△357,081千円は、セグメント間取引消去2,220千円及び全社費用△359,301千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。